

# 生産方式革新実施計画の概要【山形ゆりあふあーむ】

2026年  
2月25日認定

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

## <申請者>

山形ゆりあふあーむ（山形県東田川郡三川町）

経営概況（2026年2月時点）

経営規模：水稲12.6ha、大豆40a、長ネギ10a

従業員数：3名

## <対象品目>

水稲

## <計画の実施期間>

5年間

## <活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

## <生産方式革新事業活動のイメージ 等>



山形ゆりあふあーむ 齋藤氏



栽培管理システム（KSAS）

### ～認定を受けて一言～

一定で正確な情報を記録することができるスマート農業技術を活用し、労働力不足を補いたい。

また、他の生産者と栽培データを共有することで、地域に最適な防除、施肥量を把握し、収量増加及び品質向上に繋げ、環境に配慮した地域農業の活性化に努めていきたい。